

「市販キットで競走した身近なドリフトマシンを」
 マシンに仕上げるのだらうか。
 残念ながら、シムスレーシングでボディワークの開発が続けられていたため、7月上旬の取材段階ではその現車を見るのができなかった。が、テクスモディファイの大木氏はすでにそのマシンを

昨年後半、購入保護車手のローレンツツサの開発に関して相談が舞い込んできた。支配人から聞いた時はビックリしました。チューナーとしての立場から言えば、ぜひ挑戦してみたいなところからチーム員としての感覚もあるの色々と考えました。2、3年の長いスタンスで開発できる話が変わってこなくてはいけません。そのうち結果を出さなければ水平対向の業績が問われてくるので、ノウハウのあるJUNオートメカニクスを呼び出したわけじゃないか……テクスモディファイです」
 「これは大木氏にとって善悪の決断だった。この世へ活動の場を広げたテクスモディファイは、それまでの日産車からスバル車に素材を換え、インプレッサで新たな挑戦を開始することになった。

「日本は色々なやりたいことがあるんですけど、製作時間の関係もありますから、最初は市販キットでローレンツツサのエンジンをアッパースタイルで冷却パーツに関してもサンダーボルトを捨てるべきです。大膽な構造変更もしないので、田中選手が言ったように、JUNオートメカニクスさんのクルママニアのストーリーに近い状態に仕上げる感じでいいかな、という感じ」
 具体的には耐久保護車手の1号車と同様に、JUNオートメカニクスのF-CONキットで排気量をアップするほか、ブリッツのターボ、エクスプレッソのインジェクター、ブリッツのマフラーを組み合わせて、約4500rpm、50kg・Eのスペックを想定。足回りは非オアシスインプレッサの車高調キット、クスのアーム類を無類められ、ARCCのインタークーラー、ORCのクラッチが装着される予定だ。
 「もうね、外装に関しては号車と同様にマック製のエアロパーツが装着される予定で、『男の戦の扉』というドウェイの頃には新しい顔にしたいです」
 「田中選手が語るように、シムスレーシングにはスプレッドシート、シリール採用の新型マスクにもなる予定だ。

「シムスレーシングから車高調が引き渡されるのは7月14日なる見込みで、そこから開発に着手。そのための第4戦・オートボリスでのデビューを予定していたものを、作業行程を急いでそのデビュー戦は早くも第5戦のエアロパーツキット、遅ければ第6戦のエアロパーツドウェインにすれば可能だ。その後は断定的なスケジュールですが、その後には4連スロットルバルブ、ボルトを時間を費やして作り込みたいと思っていますので、おそらく連発のスタイルになるのは来年の中盤くらいになると思います」と大木氏も語っていった。その後の進化にも注目したい。



広々とした店内には、各種チューニングアイテムが展示されている。特にエンジン系アイテムが充実しているぞ。

様々なクルマが、信頼できるスタッフたちの手によってチューニング&ドレスアップされていく。

2005年はスバルを応援しよう!
●D1 GRAND PRIX SERIES 2005年間競技予定●
 Round1: アメリカ・アーウィン・デールズスピードウェイ/2月26日~27日(終了)
 Round2: 東京都・お台場特設コース/4月16日~4月17日(終了)
 Round3: 宮城県・スポーツランドSUGO/5月7日~5月8日(終了)
 Round4: 大分県・オートボリス/8月6日~8月7日
 Round5: 福島県・エビスサーキット南コース/8月20日~8月21日
 Round6: 静岡県・富士スピードウェイ/10月22日~10月23日
 Round7: アメリカ・アーウィン・デールズスピードウェイ/12月上旬
 エキシジション: イギリス/シルバーストーンサーキット/10月2日
 エキシジション: アメリカ・アーウィン・デールズスピードウェイ/8月27日~8月28日
 エキシジション: 日本・東京近郊スタジアム/未定

TEX MODIFY (PROGRESSIVE WORKS FACTORY)
 見た目の印象と異なり? とっても優しく接客してくれるのが代表の大木氏。これまで日産車&ドラッグマシンを中心にチューニングを行ってきたが、これからはスバル車&D1マシンにも力を入れていくとのことなので、『SIXSTAR』の読者の皆さんにも楽しみなショップがまた一つ増えたぞ。
 以前はタイヤショップだったこともあり、タイヤ交換やドレスアップ系のファインチューニングも大歓迎! ドラッグ&D1マシンを遊ばない人でも、テクスモディファイに行けばモータースパーツに対する意識が変わってくるはずだ。
 7月16日(土)~18日(日)にはフェアを行う予定で、耐久保護車手のD1インプレッサ、田中選手のS15、さらには製作中の2号車も展示されるはずだ。

●住所: 茨城県那珂郡那珂町堀435-16
 ●電話: 029-295-5430
 ●営業時間: 10時~19時
 ●定休日: 水曜日
 ●http://www.tex-modify.com



支配人の1号車用に開発されたエアロパーツを、当然2号車にも装着。ワイドフォルムになって、とってもカッコいいのだ!

シムスレーシングでボディ補強や駆動系の強化を施され、テクスモディファイに引き渡される。ラリーで培ったノウハウを惜しみなく注ぎ込んでいる。



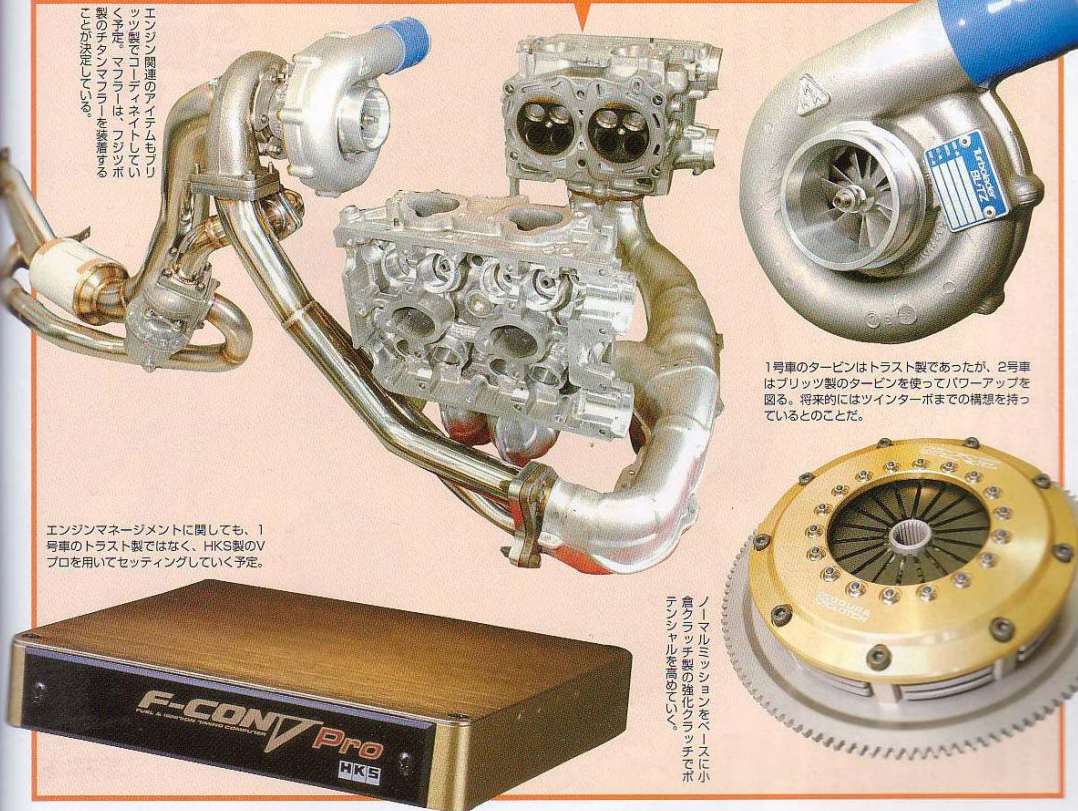
テクスモディファイのドラッグマシン。このドラッグ技術をインプレッサに注入すれば、D1でも無敵のマシンが完成するはずだ。

融合



デビューしたF型インプレッサの外装パーツを組み込む方向性で検討中。フロントマスクやリアのコンビネーションランプの移植を検討している。

装着パーツ 選定中!



エンジン管理用のマフラー、インジェクター、ターボ、クラッチ、ブレーキ、サスペンション、エアロパーツ、ホイール、タイヤ、タイヤバルブ、タイヤ空気圧センサー、タイヤ空気圧モニター、タイヤ空気圧センサー、タイヤ空気圧モニター

1号車のタービンはトラスト製であったが、2号車はブリッツ製のタービンを使ってパワーアップを図る。将来的にはツインターボまでの構想を持っているとのことだ。

エンジンマネージメントに関しては、1号車のトラスト製ではなく、HKS製のVプロを用いてセッティングしていく予定。

ノーマルミッションをベースに小倉クラッチ製の強化クラッチでポテンシャルを高めよう。